

施設予約サービス提供業務
提案評価基準

令和6年11月1日

岡山県電子自治体推進協議会

1. 基本的な考え方

契約候補者の決定に当たっては、当協議会にとって最適な事業者を選定するため、提案内容と価格の両面での評価する総合評価方式を採用し、提案上限額などの制限の範囲内において提案があった者のうち、総得点の最も高い技術提案参加者を契約候補者とする。

1.1 契約候補者決定方法

「内容点」と「価格点」の和を「総合点」とし、総合点の最も高いものを契約候補者とする。（提案上限額などの制限の範囲内において、提案があったことが前提である。）なお、満点は、750点とし、「内容点」と「価格点」の比率は、2：1とする。

$$\begin{array}{|c|} \hline \text{総合点} \\ \text{(750点満点)} \\ \hline \end{array} = \begin{array}{|c|} \hline \text{内容点} \\ \text{(500点満点)} \\ \hline \end{array} + \begin{array}{|c|} \hline \text{価格点} \\ \text{(250点満点)} \\ \hline \end{array}$$

1.2 有効数字

点数の算出に当たっては、小数点以下1桁までを有効とし、小数点以下2桁目で切り捨てる。

1.3 総合点が高点の場合

総合点の最も高い者が2以上あるとき（同点のとき）は以下のとおりとする。

- (1) 技術提案参加者それぞれの「内容点」、「価格点」が異なる場合、「内容点」が高い者を契約候補者とする。
- (2) 技術提案参加者それぞれの「内容点」、「価格点」が同じ場合、別途日を定め、くじ引きにより契約候補者を決定する。

2. 内容点の算出方法

内容点は、提案内容に基づき、以下の考え方により算出する。

2.1 内容点の計算

内容点の計算は以下の式で行う。

$$\begin{array}{|c|} \hline \text{内容点} \\ \text{(500点満点)} \\ \hline \end{array} = \begin{array}{|c|} \hline \text{各項目点数} \\ \hline \end{array} \times \begin{array}{|c|} \hline \text{各項目加重配点} \\ \hline \end{array}$$

2.2 各項目の採点の考え方

項目単位の採点は「0点」～「4点」までの5段階で評価する。

- ①非常に優れた提案は「4点」とする。
- ②優れた提案は「3点」とする。
- ③想定していた提案であれば「2点」とする。
- ④要件を満たしてないが、許容できるものは「1点」とする。
- ⑤要件を満たしておらず、許容できないものは「0点」とする。

2.3 項目加重配点の考え方

各項目の重要度に応じて項目ごとに重みを設定する。
(項目によっては、中項目と小項目がある。)

2.4 項目（大分類）の配点

内容点は、表1のとおりとする。

表1：項目（大分類）及び配点

項目（大分類）	内容	配点
1. 基本的事項	必須要件を満たしているか 効果やメリットがあるか 等	36
2. サービス内容	サービス内容が要求仕様等と比較してどうか 有益な提案がなされているか 等	256
3. サービスの導入について	サービスの本番提供前に、プロジェクト管理が適切に行えるか 円滑なサービス提供を行えるか 等	56
4. 共同利用について	共同利用に参加しやすい仕組みとなっているか 初期導入費・契約方法など、参加施設に配慮した内容となっているか 等	56
5. その他	サービス提供中又は提供後の各種取扱について その他、有益な提案がなされているか 等	96
合計	—	500

審査委員毎に項目評価点の集計を行った値を委員評価点とし、全委員の評価点を合算した上で、委員数で除した値を「内容点」とする。

3. 価格点の算出方法

価格点は、見積価格に基づき、以下の考え方により算出する。

3.1 価格点の算出方法

以下の計算式にて価格点を算出する。

$$\boxed{\begin{array}{c} \text{価格点} \\ \text{(250点満点)} \end{array}} = \boxed{250\text{点}} \times \left(1 - \frac{\boxed{\begin{array}{c} \text{見積価格} \\ \text{提案上限額} \end{array}}}{\boxed{\quad}} \right)$$

見積価格及び提案上限額には消費税及び地方消費税の額を含まない。